



交付運用報告書

債券パワード・インカムファンド（資産成長型） ＜愛称＞ パワード・インカム

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2022年3月9日～2023年3月8日

第2期 決算日：2023年3月8日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、米国の国債、ジニーメイ債、投資適格社債およびハイイールド社債へ分散投資を行い、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第2期末 2023.3.8

基準価額 5,759円

純資産総額 57,998百万円

騰落率※ Δ 35.6%

期中分配金合計 0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

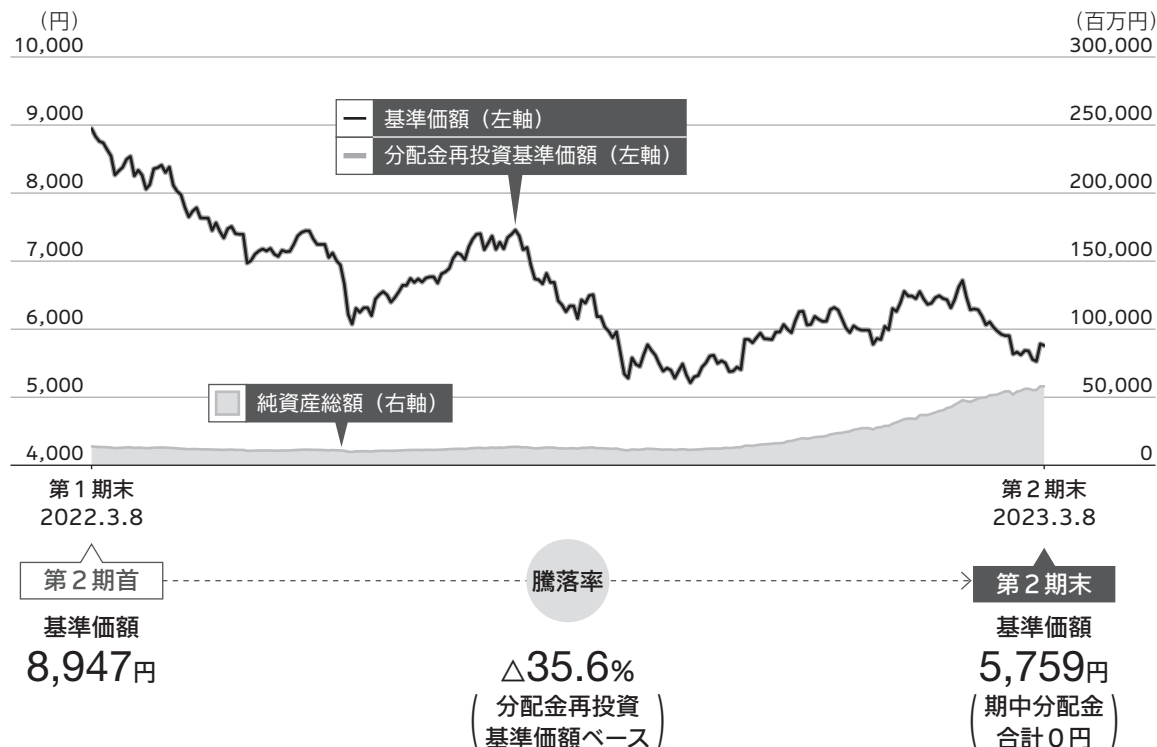
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移

- 分配金再投資基準価額の推移は、2022年3月8日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、パワード・インカムファンド（適格機関投資家向け）の投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

📊 債券パワード・インカムファンド（資産成長型）

主要投資対象である「パワード・インカムファンド（適格機関投資家向け）」投資信託証券の基準価額が下落したことから、当期の基準価額は下落しました。

主要投資対象である「パワード・インカムファンド（適格機関投資家向け）」投資信託証券においては、主に米国ハイイールド社債、米国投資適格社債の保有がマイナスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンドおよびマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。

📊 ベビーファンド 👤 マザーファンド 📊 マザーファンド以外のファンド

● 1万口当たりの費用明細

項目	第2期 2022.3.9~2023.3.8		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	99円	1.518%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は6,551円です。
（投信会社）	(32)	(0.495)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(65)	(0.990)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.005	(b)その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	99	1.523	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

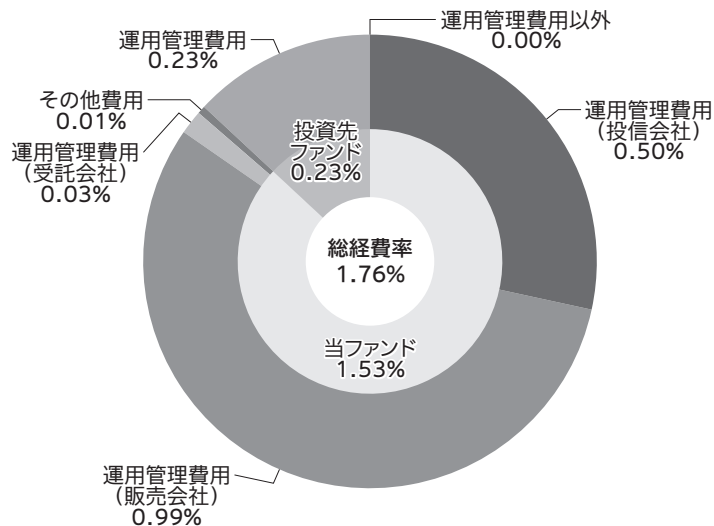
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.76%**です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.76
①当ファンドの費用の比率	1.53
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

注1. 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2018.3.8～2023.3.8



- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、パワード・インカムファンド（適格機関投資家向け）の投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2021.2.26 設定時	2022.3.8 決算日	2023.3.8 決算日
基準価額 (円)	10,000	8,947	5,759
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	△ 10.5	△ 35.6
純資産総額 (百万円)	2,364	13,776	57,998

● 投資環境

当期の米国債券市場は、2022年5月の米消費者物価指数が前年同月比+8.6%と記録的な上昇となるなど、インフレ圧力が強まる中、FRB（米連邦準備理事会）が期を通じて追加利上げを実施したことから、米国国債利回りは10月後半まで上昇（価格は下落）基調で推移しました。その後、米国の消費者物価指数が事前予想を下回るなど軟調な経済指標発表などを受けてFRBによる年明け以降の利上げペース減速に対する見方が広がり、先行きの利上げ観測が後退したことから、米国国債利回りは低下（価格は上昇）基調となりましたが、2023年2月には、1月の雇用統計や物価指数などが事前予想を上回り、追加利上げ観測が再燃したことから、米国国債利回りは再び上昇する展開となりました。米国投資適格社債や米国ハイイールド債券のクレジット・スプレッドは、2022年10月中旬まで拡大基調が続いたものの、その後は縮小に転じました。

米国国債利回りの推移



(出所：Bloomberg)

● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、主要投資対象である「パワード・インカムファンド（適格機関投資家向け）」投資信託証券の投資比率を高位に維持しました。

パワード・インカムファンド（適格機関投資家向け）

ポートフォリオの各資産の投資配分比率の合計は、期初は320%程度としていましたが、米国ハイイールド社債の投資配分比率を引き下げ、2022年6月下旬には260%程度としました。その後、徐々に米国ハイイールド社債の比率を引き上げ、期末には391%程度としました。期末時点の各資産の投資配分比率は、米国ハイイールド社債が241%程度、米国投資適格社債が50%程度、米国国債が50%程度、ジニーメイ債が50%程度です。

ポートフォリオ構成比率、利回りおよび平均格付

資産	比率
ポートフォリオ全体	391%
米国国債	50%
ジニーメイ債	50%
米国投資適格社債	50%
米国ハイイールド社債	241%
利回り	9.2%
平均格付	BBB-

注1. 2023年2月末前営業日時点の各資産の数字です。

注2. 利回りは信託報酬、スワップ管理費用控除後のものです。

注3. 利回りはファンド全体の期待利回りを示すものではありません。

注4. 平均格付は当ファンドに係る信用格付ではありません。

SOMPOマネー・ポートフォリオ・マザーファンド

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行いました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、パワード・インカムファンド（適格機関投資家向け）の投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第2期 2022.3.9~2023.3.8
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,410

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

● 今後の運用方針

債券パワード・インカムファンド（資産成長型）

引き続き「パワード・インカムファンド（適格機関投資家向け）」投資信託証券への投資を通じて、米国の国債、ジニーメイ債、投資適格社債、ハイイールド社債に実質的に分散投資を行い、投資比率を定期的に見直すことで、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。




パワード・インカムファンド（適格機関投資家向け）

米国国債利回りの上昇に伴って市中金利が上昇していることに加えて、物価高騰や金融引き締めサイクルの長期化懸念が高まっているため、財務体質が劣る企業のクレジットリスクには相対的に慎重になる必要があると考えています。FRBは高インフレを抑制することを優先して積極的な金融引き締め姿勢を続ける意向を示しており、引き続き物価動向に対して神経質な展開が続くものと予想されます。今後の運用については、引き続き、パワード・インカム戦略のパフォーマンスに連動する担保付スワップ取引の組入を行う予定です。

SOMPOマネー・ポートフォリオ・マザーファンド

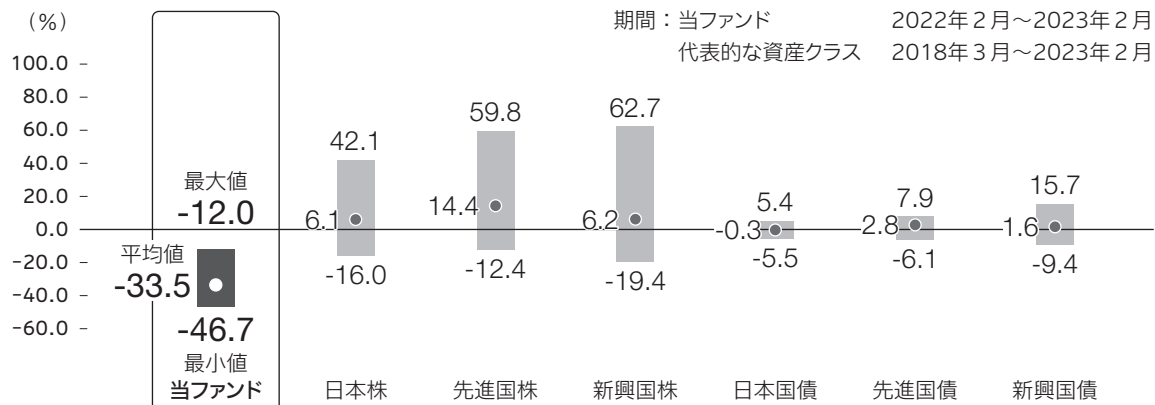
コール・ローン等の短期金融資産による運用を行う方針です。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2021年2月26日から2028年3月8日まで
運用方針	インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	<p> 債券パワード・インカムファンド（資産成長型） 「パワード・インカムファンド（適格機関投資家向け）」および「SOMPOマネー・ポートフォリオ・マザーファンド」</p> <p> パワード・インカムファンド（適格機関投資家向け） オンバランスでは短期金融資産等を、オフバランスでは担保付スワップ取引（円建て）を主要取引対象とします。</p> <p> SOMPOマネー・ポートフォリオ・マザーファンド わが国の公社債等</p>
運用方法	<p>① 米国の国債、ジニーメイ債、投資適格社債およびハイイールド社債へ分散投資を行い、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。</p> <p>② 「パワード・インカム戦略」は、米国の国債、ジニーメイ債、投資適格社債およびハイイールド社債に分散投資を行い、レバレッジを活用することにより、インカムゲインの獲得を目指す戦略です。</p> <p>③ 担保付スワップ取引を活用するため、為替変動リスクは限定的です。</p> <p>④ 原則、年1回の決算時に、収益の分配を行います。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

① 当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は16ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

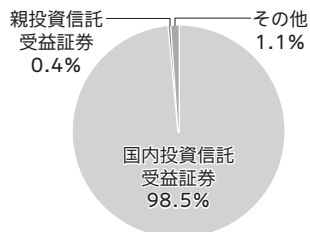
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第2期末 2023.3.8
パワード・インカムファンド（適格機関投資家向け）	98.5%
SOMPOマネー・ポートフォリオ・マザーファンド	0.4%

注. 比率は第2期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第2期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第2期末 2023.3.8
純資産総額	57,998,343,973円
受益権総口数	100,715,284,286口
1万口当たり基準価額	5,759円

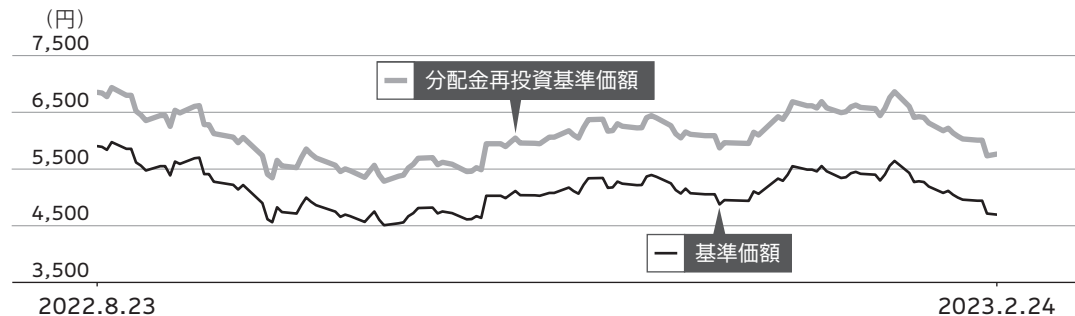
※ 当期中における追加設定元本額は90,758,467,917円、同解約元本額は5,441,700,425円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

📊 パワード・インカムファンド（適格機関投資家向け）

基準価額の推移



- 基準価額は、債券パワード・インカムファンドの各ファンドの基準価額算出に用いた価額（算出日の前営業日の価額）を表示しています。
- 分配金再投資基準価額は、2022年8月23日の基準価額に合わせて指数化しています。

（ご参考）費用明細

項目	2022.8.24～2023.2.24
	比率
運用管理費用	0.23%
その他費用	0.00%
トータルエクスペンスレシオ	0.24%

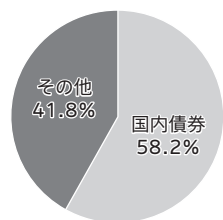
※トータルエクスペンスレシオはパークレイズ投信投資顧問株式会社から入手したものを掲載しています。

※各比率は、年率換算した値です。

組入上位10銘柄

	銘柄名	国	組入比率
1	第1128回国庫短期証券 満期2023年12月	日本	14.2%
2	第1139回国庫短期証券 満期2024年2月	日本	12.2%
3	第1133回国庫短期証券 満期2024年1月	日本	9.7%
4	第1121回国庫短期証券 満期2023年11月	日本	9.7%
5	第1108回国庫短期証券 満期2023年9月	日本	4.8%
6	第1115回国庫短期証券 満期2023年10月	日本	3.9%
7	第1095回国庫短期証券 満期2023年7月	日本	3.4%
8	第1088回国庫短期証券 満期2023年6月	日本	0.3%
9	—	—	—
10	—	—	—
	組入銘柄数	8	58.2%

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. オフバランス部分でエクセス・リターン・スワップを105.2%組入れています。一部設定が純資産にはまだ反映されていないため、スワップの組入比率が高く見えています。

注2. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの決算日（2023年2月24日）現在のものです。

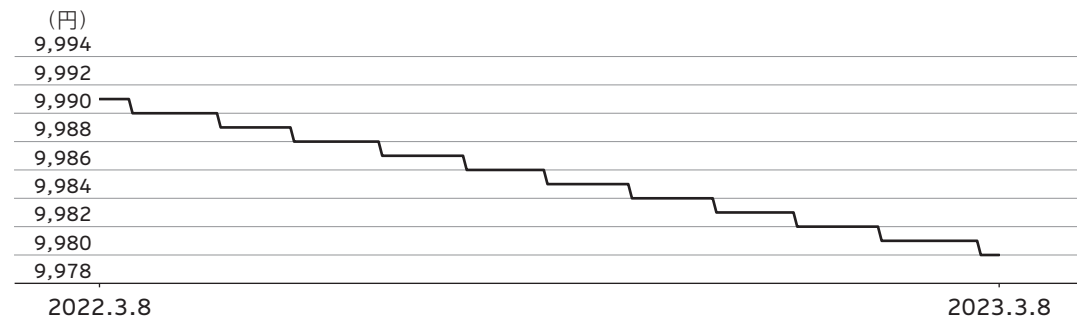
注3. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

注4. パークレイズ投信投資顧問株式会社が作成したデータを掲載しています。



SOMPOマネー・ポートフォリオ・マザーファンド

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

項目	2022.3.9~2023.3.8	
	金額	比率
その他費用	3円	0.031%
(その他)	(3)	(0.031)
合計	3	0.031

期中の平均基準価額は9,985円です。

組入上位10銘柄

決算時における組入銘柄はありません。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2023年3月8日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

債券パワード・インカムファンド（資産成長型）

検索

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/7029/price.html>

The screenshot shows the SOMPO Asset Management website. The main content area displays the fund name '債券パワード・インカムファンド（資産成長型）' (Bond Portfolio Income Fund (Asset Growth Type)) and its nickname '(愛称 パワード・インカム)'. Below the fund name, there is a table of documents available for download, categorized by type (交, 運, 休, 請, 販, 月). The table lists documents such as '交付目論見書' (2022.12.07), '交付運用報告書' (2022.03.08), '請求目論見書' (2022.12.07), '運用報告書 (全体版)' (2022.03.08), '販売用資料' (2022.12.07), and '最新月次レポート' (2023.02.28). A '海外休業日 (申込不可日) 2023年' (Overseas Holiday (Application Unavailable) 2023) is also noted. The website header includes 'SOMPO アセットマネジメント' and 'SOMPO ホールディングス'.

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書（全体版）

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

販

販売用資料

目論見書を補完する内容をご説明しております。交付目論見書と併せてご覧ください。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。